

Connecting Japanese world-class science with global ecosystem

S2S Japan 2026 Final Event 11月12日開催 ~参加申込受付中~ Final Event on November 12th ~Registration is open~

日時/Date : 2026年11月12日 9:00-18:00 (予定)/ Nov. 12th, 2026, 9:00-18:00 (TBD)

会場/Venue : 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス / Tokyo Midtown Yaesu Conference

米国VCによる審査を通過しメンタリングを受けたファイナリスト/トップ研究者が登壇。国内外のトップベンチャーキャピタリスト等によるパネルディスカッション・キーノートスピーチを実施します。

Finalists/top researchers who passed the screening and received mentoring from US venture capitalists will take to the stage. Panel discussions and keynote speeches will be held by top venture capitalists from Japan and overseas.

参加申込
Registration



S2S Japanについて/ABOUT S2S Japan

S2S JAPANはライフサイエンス領域の日本のトップ研究者の事業アイデアをグローバルの投資家とともに磨き込み、シンポジウムで投資家、製薬会社、起業家、研究者、大学関係者等に対しプレゼンを行うプログラムです。

S2Sは、2018年にボストン拠点のトップ投資家により開始されたプログラムで、アカデミア発の技術シーズのスタートアップを通じた医薬品等の開発への応用を推進するためのノウハウを世界各地の研究者に共有することを目的とした社会貢献活動として運営されています。これまでに世界中のトップ研究者が参加し、経営人材や投資家とのネットワークを深め、13社以上のスタートアップの起業に結びついています。S2S JapanはS2Sの運営者との連携のもと運営し、2024年から活動を開始しています。

S2S JAPAN is a program to develop translational plans in collaboration with US investors to develop therapeutics based on technology seeds of Japan's top researchers in the life sciences sector. It features a symposium where presentations are made to investors, pharmaceutical companies, entrepreneurs, researchers, and university affiliates.

S2S was initiated in 2018 by leading investors based in Boston, aimed at sharing know-how for commercializing academic technological seeds into pharmaceuticals through startups. It operates as a social contribution activity with the goal of sharing this expertise with researchers worldwide. Top researchers from around the globe have participated, expanding their networks with management talent and investors, leading to the creation of over 13 startups. S2S JAPAN is operated in coordination with the organizers of S2S and started activity since 2024.

イベントや活動の最新情報についてはWebサイトまたはSNSからご確認ください。

For more information, please visit our website (s2s-japan.com) and SNS.

Website



Facebook



LinkedIn



X



2026 Finalists

Michisuke Yuzaki, MD, Ph.D. / 柚崎 通介 (慶應義塾大学/Bio2Q)



神経シナプスをつなぎ直すBiNEs : パーキンソン病から広がる新しい治療プラットフォーム/Bispecific Neuron Engagers (BiNEs): Restoring synaptic connections to treat Parkinson's disease and beyond

パーキンソン病治療のため、ドーパミンシナプスを直接再建・神経回路を再び繋ぐ新規治療薬 Bispecific Neuron Engagers (BiNEs) を開発し、運動機能の回復と病気の進行抑制の両立を目指します。さらに、この治療戦略を他の神経回路にも展開することで、さまざまな神経疾患に応用できる新しい治療プラットフォームの構築を目指します。

Tadafumi Kato, MD, Ph.D. / 加藤 忠史 (順天堂大学)



双極症に対するmPTP阻害薬 : ミトコンドリアを標的とした新たなアプローチ

First-in-Class mPTP inhibitors for Bipolar Disorder: A New Mitochondria-Based Approach

双極症の核心となる病態病態である細胞内Ca²⁺シグナル異常とミトコンドリア障害を標的とした薬剤開発を進め、mPTP (ミトコンドリア透過性遷移孔) 阻害薬として、広く処方されている既存薬の光学異性体を見出しました。この治療法は、リアルワールドデータに裏付けられ、抑うつエピソードの再発予防という重要なアンメット・メディカル・ニーズに応えるものです。

Daisuke Morishita, Ph.D. / 森下 大輔 (SODAI Therapeutics 株式会社)



NativeSense ADC™: Targeting Glycosaminoglycans through pH-Conditional Binding for Heterogeneous Tumors

SODAI Therapeuticsは、ヒト免疫ががんを見分ける力を活かし、新たな治療薬を生み出す。腫瘍内B細胞が産生する抗体を起点に、がん細胞表面の抗原の状態を読み解き、既存オミクスでは捕捉できない標的へと遡ります。新規標的と治療候補となるヒト抗体を対で見だし、がん創薬の未踏領域を切り拓きます。

Gen Matsumoto, Ph.D. / 松本 弦 (大阪公立大学)



神経変性疾患の新たな治療戦略 : 経口薬で認知症のない未来へ

Aggregate Degradation Therapy: An Oral Aggregate Clearance Platform for Neurodegenerative Diseases

神経変性疾患では、細胞内に蓄積したタンパク質凝集体を除去する治療法がありません。私たちは、細胞が本来備える凝集体除去機構を利用する経口低分子薬ADIを開発しました。ADIはアグリファジーを活性化して凝集体を分解することで、不可逆的な神経変性が生じる前からの治療介入を可能にすることが期待されます。

Tomohiro Miyai, D.Sc. / 宮井 智浩(理化学研究所生命医科学研究センター)



アトピー性皮膚炎に対する環状ペプチド外用剤の開発

Osmeritide: A Topical Biologic for Atopic Dermatitis

「抗体では大きすぎて、塗っても皮膚に届かない」という常識を、2.3 kDaの特殊環状ペプチドOsmeritideが覆します。アトピー性皮膚炎の重症度を規定するOSMRを特異的に阻害し、モデルマウスではステロイド外用薬を超える掻痒・炎症抑制を示しました。長期使用や幼児にも使いやすい、高い安全性と薬効を兼ね備えた新薬の創出を目指します。

Shunsuke Ito, Ph.D., MBA / 伊藤 俊介 (HiLung株式会社)



IPF治療薬候補であるベストインクラス吸入LPA1 antagonist HL001の開発

HL001: An Orphan-Designated Best-in-Class Inhaled LPA1 Antagonist for IPF

進行性の肺線維症を伴う希少疾患である特発性肺線維症(IPF)に対し、当社が開発するHL001は、ベストインクラスのLPA1 antagonistを吸入剤として既存薬/競合開発品に比して高い薬効と忍容性を両立するとともに、肺上皮細胞再生誘導という新しい機序に基づいて、高い治療ポテンシャルを有する。2027年の臨床試験開始を計画している。